

第1回庄原市学校適正配置検討委員会 議事録（概要）

日時 平成28年5月30日（月）10:00～11:50

場所 庄原市役所本庁舎5階 第1委員会室

【出席者】

（委員） 林委員（委員長）、藤谷委員（委員長職務代理者）、廣澤委員、定宗委員、藤崎委員、竹川委員、宮本委員、加藤委員、片岡委員、森永委員、井上委員、堀江委員
（事務局） 牧原教育長、片山教育部長、山田教育総務課長、中重教育指導課長、宗綱総務係長、定光学校管理係長、荒平主任主事、加藤主任主事

〔欠席〕 三上委員

〔傍聴者〕 2名（報道関係者）※議長選出後～会議の公開決定までは退席

（10:00 開会）

1. 開会（事務局進行・教育長あいさつ）
2. 委員委嘱状交付
3. 委員及び事務局紹介（自己紹介）
4. 委員長の選出及び委員長職務代理者の指名について
～互選により、林委員が委員長に選出
～進行役を事務局から議長（委員長）に交代
～委員長職務代理者に、藤谷委員を指名
5. 会議及び議事録の公開等について
～「本会は原則公開とするが、一部内容は委員採決により非公開とする」こと、「本会の議事録は原則発言された委員名は伏せた上で概要のみを公開とする」ことについて決定
6. 庄原市学校適正配置検討委員会への依頼について
～教育長より「小中学校の適正な規模及び配置に関する提言について」依頼文書を読み上げ、委員長へ交付

7. 検討・協議

～事務局より資料について説明

- 議長 今の説明について、何か質問や意見等はないか。
- 委員 児童、生徒の通学方法について、遠距離通学となる子に体調の不調を訴えるケースはないか。
- 事務局 特に問題があるという実態はない。
- 委員 遠距離通学の場合、欠席が増えてしまうということはないか。
- 事務局 特にそういうことはないが、冬季に積雪が多くなった場合、スクールバスの運行に支障が生じて通学できない状態が起きた時は、学校を休業とするなど、不利益をこうむることはないと考えている。

8. 意見交換

- 議長 これまでの説明等を踏まえて、何でも良いので、学校の適正規模や適正配置に関して、ご質問やご意見はないか。
- 委員 今回の答申は H28.12 までにととなっているが、意見交換の前に今後のスケジュールについて説明していただきたい。
- 事務局 ～資料によりスケジュールを説明
- 委員 今後庄原市として、どういう教育を目指していくのか、考えていくのかを確認しながら、どういう教育を展開しているのかを考えていかなければならない。そのための資料も必要になると思う。
- 事務局 次回の会議では、当市の教育振興基本計画、教育要覧を資料として委員の皆さんに提供する。
- 委員 合併時から現在までの児童生徒数推移について、川北小は 17 名から 21 名と、4 名も増えている。これは地域の協力の証に外ならず、地域としてがんばって取り組んでいるのが数字にも表れている。東城の栗田小も若干人数は減っているが、同様である。学校の校舎について、西城中の校舎は雨漏りがひどく、修繕の依頼を出しているがなかなか修理してもらえない現状にある。西城保育所は園児の数が多く、小奴可保育所へ通っている者もいる。また同保育所は、建設地が決定した後で、危険区域に指定されているということが判明したなどということもある。このように市側の対応が良くない状況も見受けられる。児童数等、数字の推移どおりには今後進まないかもしれない。また、地域もそれぞれ努力している。各地域の意見をしっかり聴かないといけない。検討委員会として、前向きに提言をしたいと思っているが、決めたことについて自分自身が責任を持ちきれるかという心配もしている。
- 議長 この検討委員会は、基本的に「今後のあり方」を考える会である。「数」のこともあるが、庄原市内の地域のことも含めて考えていかないといけない。極端な話では、複式学級はうまくいかないなど言われることもあるが、そうではない側面もある。「数」ではなく、「庄原市は今後何を大事にしていくのか」を出していき、そのための交通整理をしていきたいと思っている。
- 委員 スケジュール表では、7 月には現状の把握と記してある。学校関係者は現場のことを良く分かっておられると思うが、そうでない委員の方は、なかなか現場のことが分からない。できれば 1 日でも各学校、特に小規模校を視察するというのはどうだろうか。
- 委員 学校現場の確認は必要だと思う。
- 事務局 全校は難しいが、委員会において今後学校の視察を検討したい。
- 委員 今回の検討を進めていく際、教育振興基本計画を委員で共有すべきだと思うが、本日の資料にはなかった。これは必要な資料だと思う。また、市として今年度提言を受け、来年度からどのように本件を進めていくのか。検討委員会で提言されたものを 100% 背負っていかれるとは思わないが、今後のことを聞かせていただきたい。
- 事務局 今回、どのような提言をいただくかということにも関係するが、提言いただいた内容を教育委員会にも付議し、また市長部局にも協議して進めていかなければならない。来年度以降は各地域の状況のこともあるので、話を聞き、説明していくというこ

とをしていきたい。今回いただいた提言を尊重しつつ、一方で地域の状況を勘案するなど、対応をしていくこととなる。

議長 適正配置については、教育振興基本計画にも示されている。庄原市としてどうなるべきかを示すということが、我々の仕事だと思っている。

今回の会議において、どこにお金をかけるべきかといったところまで踏み込むべきかとも思うし、様々な意見が出て良いと思うが、我々の提言をすべて採用していただきたいというものではない。先に結論ありきの会議ではない。様々な意見が出て、それをまとめるのがこの会議の場である。

事務局 現状の把握のために必要な資料があれば、またご指摘いただきたい。

委員 それであれば、庄原市の長期総合計画において、教育関係の部分を抜粋した資料をいただきたい。

事務局 当市においては、今後 10 年間の長期総合計画・5 年間の教育振興基本計画を定めている。次回の会議では、ご指摘の資料を委員の皆さんに提供する。

委員 児童・生徒の学校選択や通学区域の設定について、庄原市では定めたものがあるか。

事務局 これは「指定学校変更」、「他市町への通学」のことだと思われるが、教育委員会において取り扱いを定めて運用している。各保護者の申請により、これを審査・認定している状況である。また逆に、市外から当市の学校に通うというケースもある。これらの資料については、次回の会議にて委員の皆さんに提供する。

委員 前回の適正配置検討時の、保護者から受けた意見などをまとめた資料はないか。

事務局 すべての地域分についてはないかもしれないが、資料がある地域分は今後委員の皆さんに提示する。

委員 保育所の時から地域外に出ると、友達づきあいのこともあり、小学校以降も学区外に出て行くケースも多い。そういった親心のことは理解してほしい。

事務局 そのことについては様々なケースがあるので、ケースごとに検討したいと思う。

議長 疑義事項が本日この場で出ず、後日何か思われることがあったら、会議後に教育委員会に直接話をされるのもよい。

委員の皆さんから意見がないのであれば、このあたりで意見交換を終了させていただく。

9. その他

～事務局より事務連絡

10. 閉会 (11:50 終了)